

2021年3月期

# 決算説明資料

---

2021年5月12日



株式会社富士ピー・エス

証券コード：1848

# 2021年3月期 決算ハイライト、次期予想

## ● 2021年3月期 決算

- 外部環境：建設投資は63.1兆円と微減となる見通し。プレストレスト・コンクリート建設業協会受注実績2019年度3,200億円に対し、本年度は増加の見通し、新設から維持補修・更新市場へシフト。
- 事業状況：2021年1月1日に連結子会社である(株)シーピーケイを吸収合併した結果、連結子会社が無くなった。
- 個別業績：新型コロナウイルス感染症の影響は限定的で、売上高は4期連続増収、営業・経常利益とも4期連続増益、当期純利益2期連続増益
- 配当12円 前期より3円増配、配当性向16.0%、R O E 15.2%

## ● 2022年3月期 次期見通し

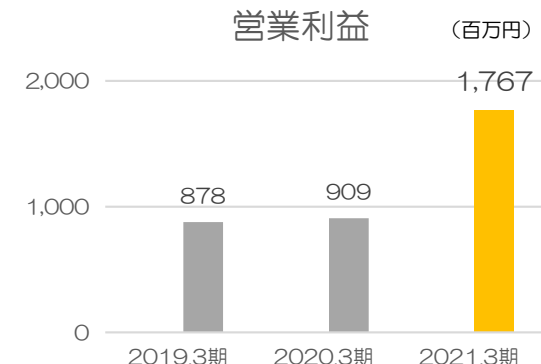
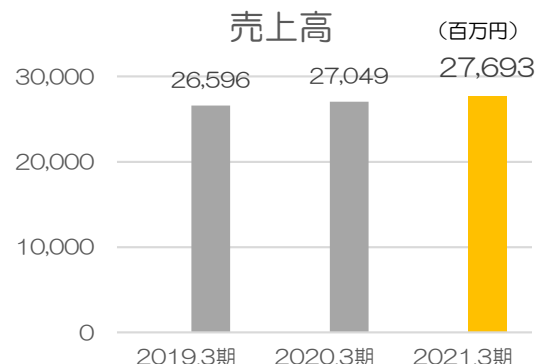
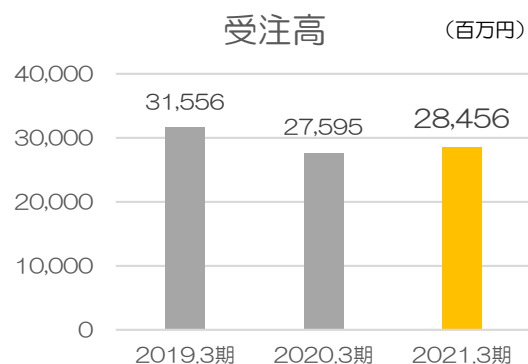
- 外部環境：民間住宅投資は、低水準で推移することが懸念されるが、インフラ老朽化対策など必要性の高い事業への建設投資は堅調に推移すると予想。とくに高速道路会社を中心に維持補修・更新市場が増加予想。
- 業績予想：売上高は増収、各利益は減益予想
  - ✓ 新型コロナウイルス感染症拡大の影響は本業績予想値に織り込んでいない。
  - ✓ 事業継続のため、感染症拡大防止に向け万全の体制で取り組んでいる。
- 配当予想 9円、配当性向22.0%、R O E 7.6%

# 2021年3月期 業績の概要（3期業績推移）

土木事業の受注が好調、売上高・営業利益は4期連続の増収・増益

（単位：百万円）

	2019/3期	2020/3期	2021/3期	前期比		コメント
				増減額	増減率	
受注高	31,556	27,595	28,456	861	3.1%	建築事業の減少を土木事業でカバーし、増加
売上高	26,596	27,049	27,693	644	2.4%	4期連続の増収
売上総利益 （売上総利益率）	3,730 (14.0%)	3,652 (13.5%)	4,751 (17.2%)	1,098	30.1%	土木事業の工事採算性の改善に伴い、工事利益率の好転により増益
営業利益 （営業利益率）	878 (3.3%)	909 (3.4%)	1,767 (6.4%)	857	94.4%	4期連続の増益 売上総利益の増加による
経常利益	856	905	1,730	824	91.1%	同上
当期純利益	579	640	1,327	686	107.2%	2期連続の増益 売上総利益の増加及び連結子会社である㈱シーピーケイの吸収合併に伴い生じた抱合せ株式消滅差益による

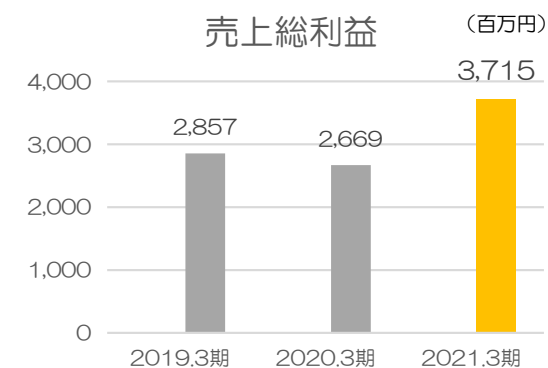
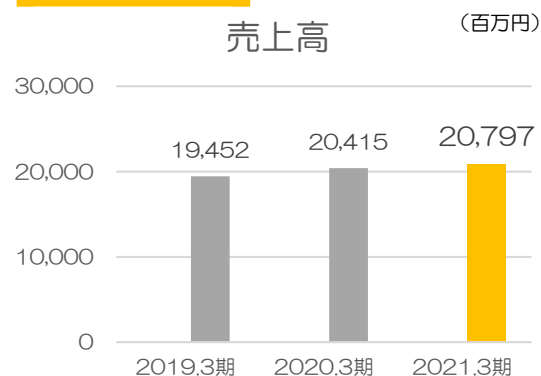
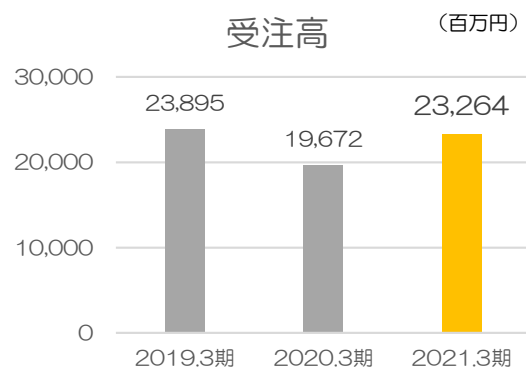


# セグメント別業績（土木事業）

受注は好調、手持工事の順調な進捗により増収・増益

（単位：百万円）

	2019/3期	2020/3期	2021/3期	前期比		コメント
				増減額	増減率	
受注高	23,895	19,672	23,264	3,591	18.3%	橋梁の維持更新分野を中心に堅調に推移し、増加
売上高	19,452	20,415	20,797	382	1.9%	大型の繰越工事の順調な進捗による増収
売上総利益 (売上総利益率)	2,857 (14.7%)	2,669 (13.1%)	3,715 (17.9%)	1,045	39.2%	工事利益率の好転により増益



## 主な受注工事

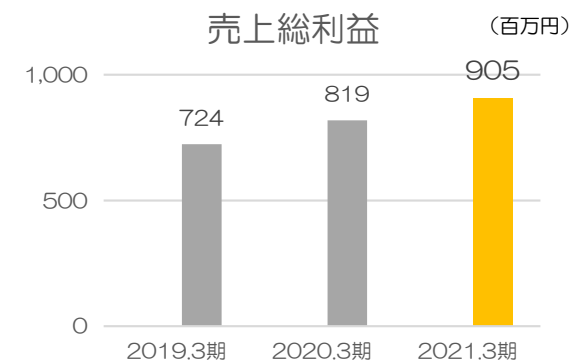
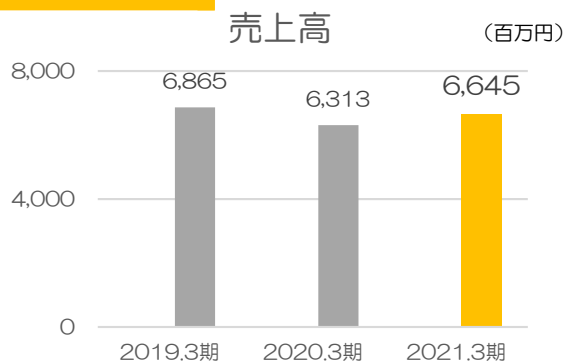
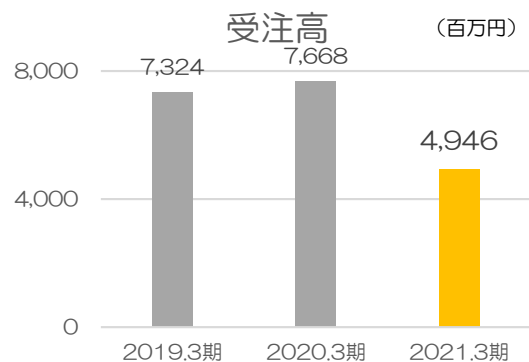
工事名称	発注者	工事概要
令和2年度 河津下田道路Bランプ橋PC上部工事	国土交通省中部地方整備局	伊豆縦貫自動車道 高規格幹線道路事業
(主) 香住村岡線 矢田橋 上部工工事	兵庫県	主要地方道香住村岡線 橋梁架替事業
北陸自動車道（特定更新等）九頭竜川橋他2橋床版取替工事(その2)	中日本高速道路(株)	北陸自動車道 福井北IC～丸岡IC間の特定更新事業

# セグメント別業績（建築事業）

コロナの影響により受注高が減少するも、手持工事の順調な進捗により増収・増益

（単位：百万円）

	2019/3期	2020/3期	2021/3期	前期比		コメント
				増減額	増減率	
受注高	7,324	7,668	4,946	△2,722	△35.5%	新型コロナウイルス感染症の長期化に伴い、民間投資の落ち込みによる発注遅れの影響で減少
売上高	6,865	6,313	6,645	331	5.3%	第1四半期で生じたコロナの影響による現場着工遅れ等が当事業年度末までに回復したことによる増収
売上総利益 (売上総利益率)	724 (10.6%)	819 (13.0%)	905 (13.6%)	86	10.5%	売上高の増加及び工事採算性の改善に伴い、工事利益率の好転により増益



## 主な受注工事

工事名称	発注者	工事概要
積水ハウス福岡香椎照葉6丁目マンション	(株)竹中工務店	新築マンション工事のPCa柱部材製作・運搬
(仮称) 渋谷区千駄ヶ谷四丁目計画	清水建設(株)	新築マンション工事のFR板の製作・運搬
東京建物堂島2複合施設	(株)竹中工務店	RC造49階建て複合施設のFR板の製作・運搬

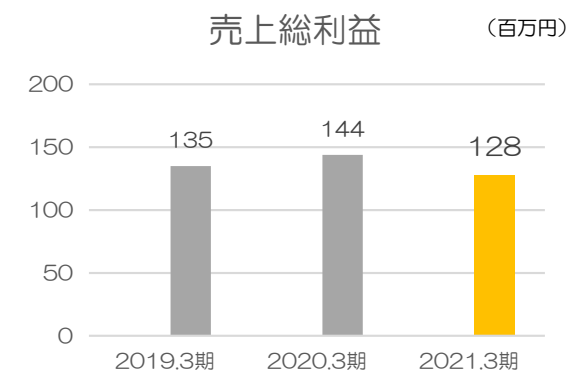
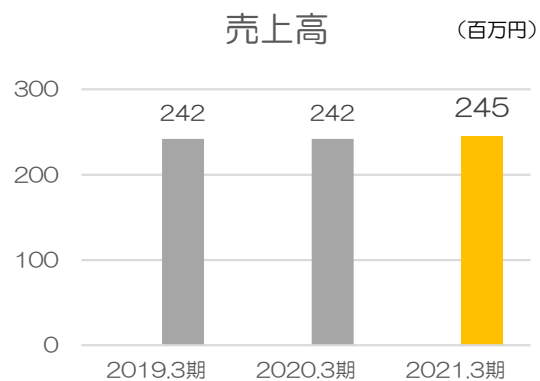
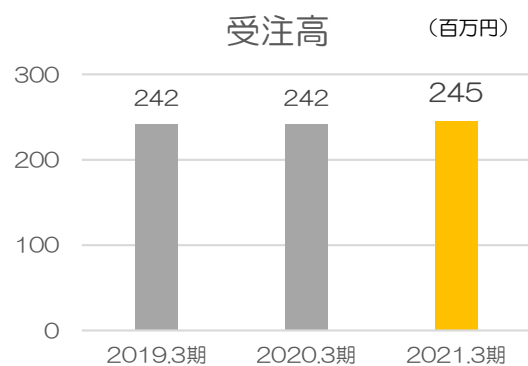


# セグメント別業績（不動産賃貸事業）

テナントの入居率は堅調に推移

（単位：百万円）

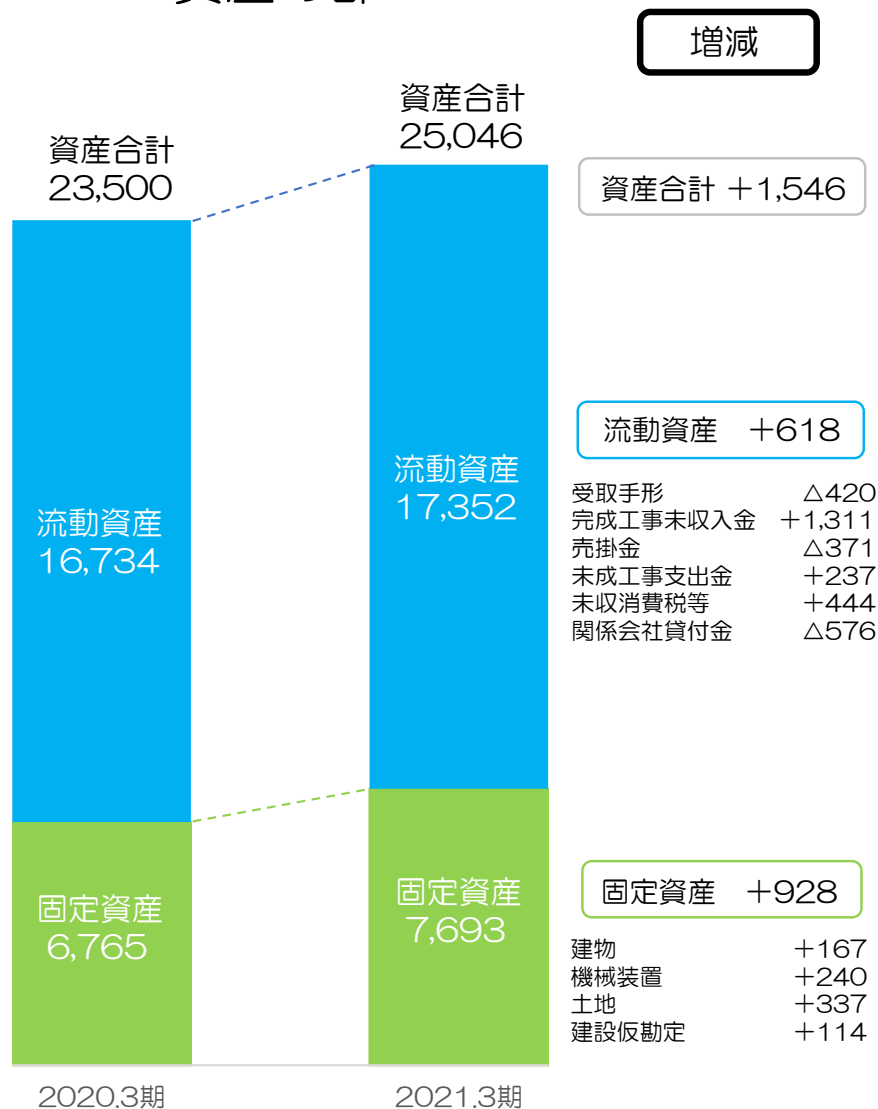
	2019/3期	2020/3期	2021/3期	前期比		コメント
				増減額	増減率	
受注高	242	242	245	3	1.6%	
売上高	242	242	245	3	1.6%	受注高、売上高ともに前期並み、空調設備等の取替えにより売上総利益は微減
売上総利益 (売上総利益率)	135 (55.7%)	144 (59.7%)	128 (52.3%)	△16	△11.1%	



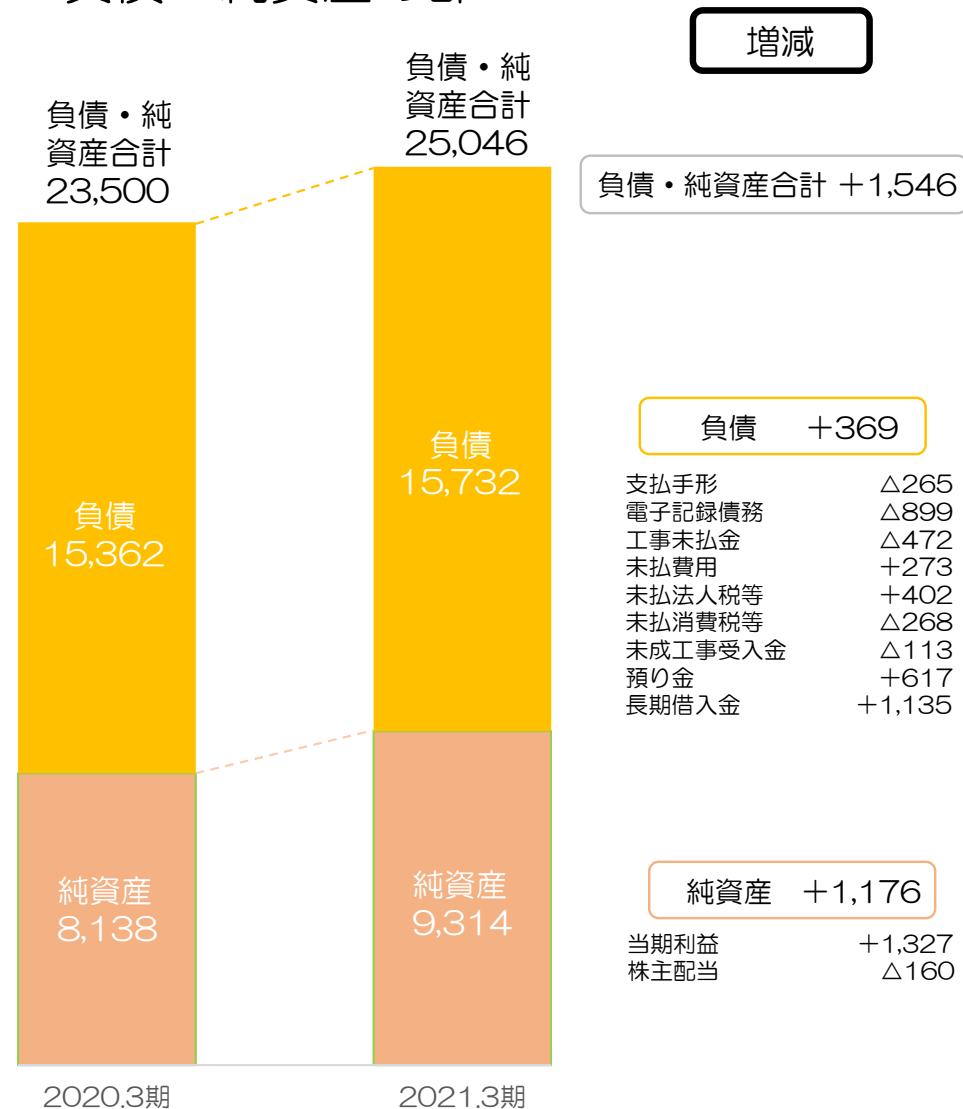
# 貸借対照表

(単位：百万円)

## 資産の部

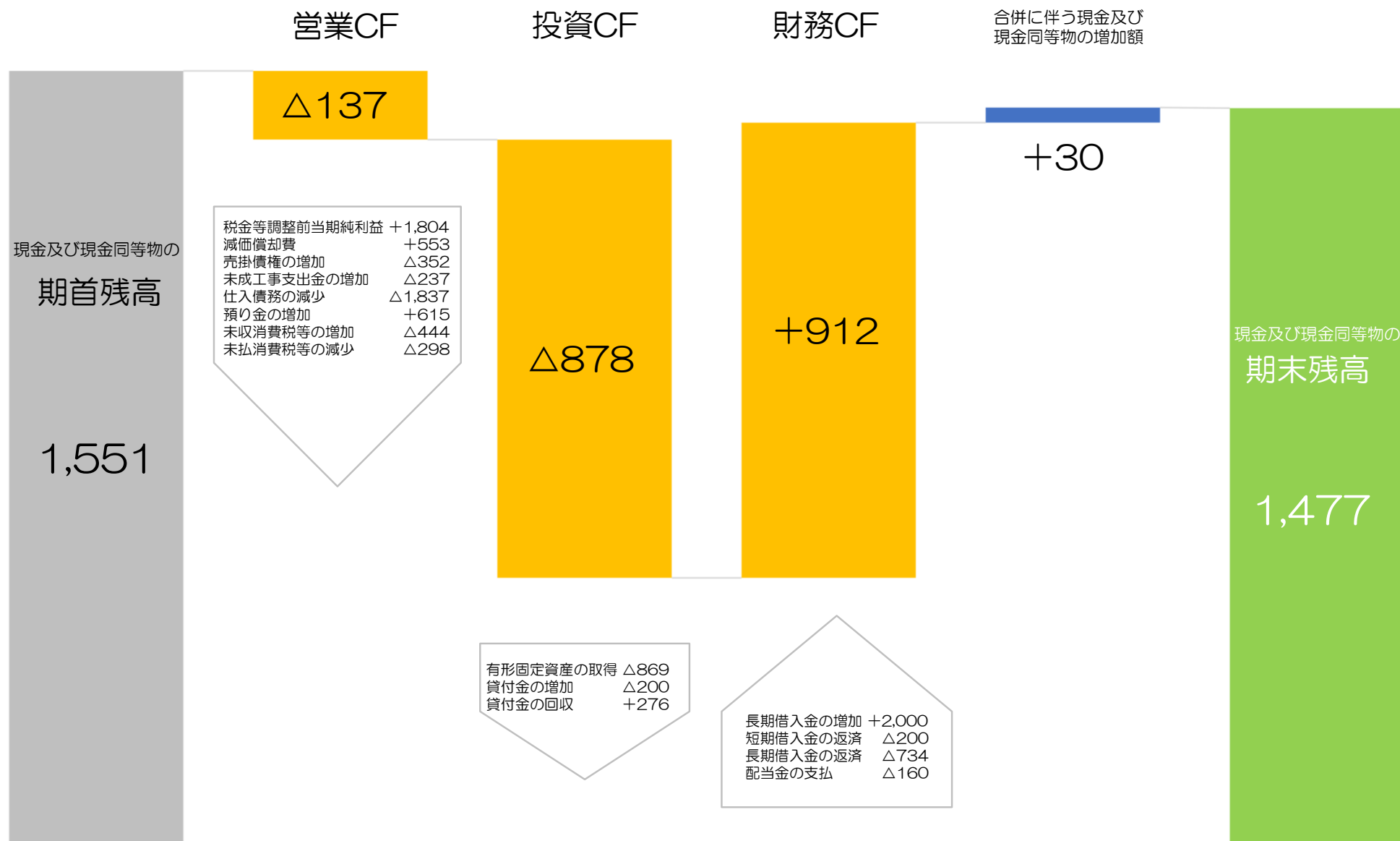


## 負債・純資産の部



# キャッシュ・フロー

(単位：百万円)





# 2022年3月期 業績予想

受注高・売上高は増加予想、各利益は減益見込み

(単位：百万円)

	2020/3期 (実績)	2021/3期 (実績)	2022/3期 (予想)	前期比		コメント
				増減額	増減率	
受注高	27,595	28,456	42,700	14,243	50.1%	前期よりすれ込んだ契約予定の大型物件に加え、維持補修更新市場への積極的な営業強化を図ることによる増加予想
売上高	27,049	27,693	28,160	466	1.7%	手持工事の順調な進捗により増収予想
売上総利益 (売上総利益率)	3,652 (13.5%)	4,751 (17.2%)	3,915 (13.9%)	△836	△17.6%	前期は過年度から継続の大型工事がほぼ完工し、設計変更等による改善があり、大幅な増益となったことから2021年度は反動減
営業利益 (営業利益率)	909 (3.4%)	1,767 (6.4%)	980 (3.5%)	△787	△44.5%	売上総利益の減少に伴う減益予想
経常利益	905	1,730	950	△780	△45.1%	同上
当期純利益	640	1,327	725	△602	△45.4%	同上
1株当たり配当金 (単位：円)	9.0円	12.0円	9.0円			前期より減配予想（前期は大幅な増益に伴い3円増配）

